

<p>【イベント名】 第51回 APAN会議 テクノロジー</p>	<p>【概要】 第51回APAN会議テクノロジーセッションは低費用で遠隔医療の技術を広めることに焦点を当てた。座長はMr. ZahirとMr. Chiangが務めた。セッションでは4件の発表があった。最初の発表は完全オンラインの医療教育について、2番目はオンラインでの記録とソフトウェアの共有によるホームモニタリングについて、3番目は遠隔医療技術の選択について、最後にオープンソースのビデオ会議システムであるJitsiについて発表が行われた。ネットの瞬断などもほとんどなく非常に実りある機会となり、参加者も満足し、このセッションから多くを学んだ。</p>
<p>【期日】 2021.02.01</p>	
<p>【会場】 国立台湾大学 (台湾), 国家実験研究院 (台湾), 九州大学病院 (日本), アジア消化器センター (インド), マラヤ大学 (マレーシア), NASATI オフィス (ベトナム), カトマンズモデル病院 (ネパール), ブータン ケサルギャルポ医科大学 (ブータン)</p>	
	
<p>座長の一人であるMr. Zahir。</p>	<p>モニタに映し出される接続施設</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>提示されたスライド。</p>	<p>提示されたスライド。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>アジア消化器センターからの発表の様子。</p>	<p>NASATI オフィスからコメントする様子。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>